

(報告) 2024年度 ユーザー理解活動 経過報告

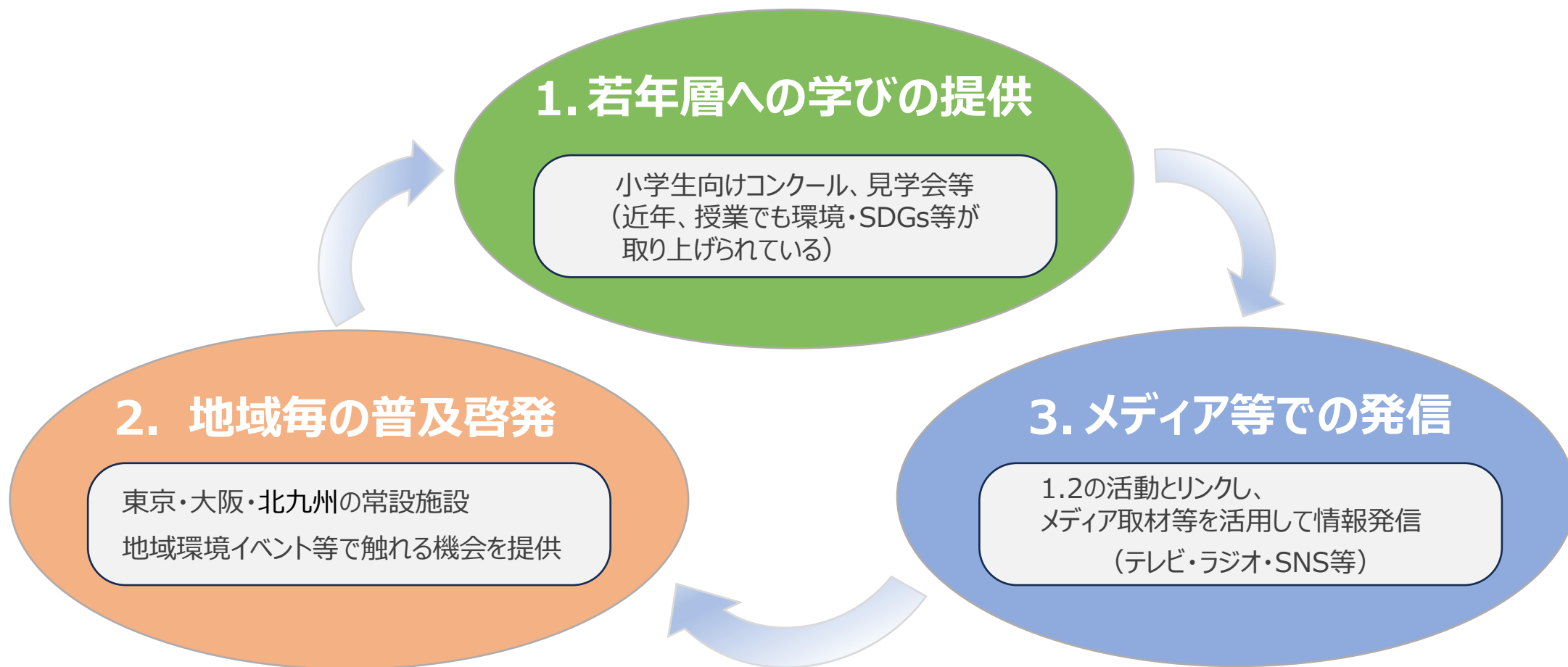
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2024年12月16日

1. ユーザー理解活動 概要	 P2
2. 若年層への学びの提供	
小学生を対象とした活動	 P4
大学生・免許取得対象者を対象とした活動	 P5
3. 地域毎の普及開発	 P6
4. メディア等での発信	 P7
5. 予算執行状況	 P8
6. まとめ	 P9

1. ユーザー理解活動 概要 (リマインド)

2021年7月自動車リサイクルに関する合同会議（産業構造審議会，中央環境審議会）の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」の提言に基づき、**幅広い観点からユーザーの理解を促進**するため、関係者間の連携を促進しつつ、より透明性の高い情報発信を行う。また、ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与するため、制度におけるユーザーの役割について普及啓発に取り組む。



2. 若年層への学びの提供 (1/3) 小学生を対象とした活動①

- 小学生を対象にした事業者見学会を6回実施。見学会実施に際してはメディア誘致による情報拡散に取り組んだ。
- 同見学会とリンクする企画として、小学生新聞に記事を掲載 (発行部数 140万部)。

製造事業者	販売事業者	オークション会場	整備事業者	解体事業者	破砕事業者
いすゞ自動車 (神奈川)	秋田いすゞ自動車 (秋田)	JU大分 (大分)	ケイエス自動車 (長野)	オートパーツ伊地知 (鹿児島)	ヒラキン (岡山)
見学会の様子					
					
小学生新聞への掲載					
					

2. 若年層への学びの提供 (2/3) 小学生を対象とした活動②

- 2023年度 第7回「クルマのリサイクル」作品コンクールにおいて団体特別賞を受賞した小学校 3 か所を個別に訪問し表彰を実施。
- 2024年度 第8回「クルマのリサイクル」作品コンクールの作品募集を開始（募集期限：2025年1月末）

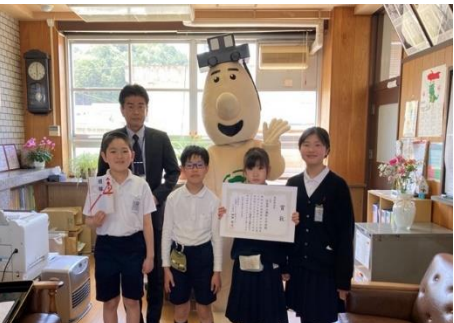
2023年度の表彰（地域メディア取材あり）



（沖縄県）石垣市立伊野田小学校



（福岡県）喜多方市立上三宮小学校



（広島県）広島市立瀬野小学校

2024年度 作品募集

2. 若年層への学びの提供 (3/3) 大学生・免許取得対象者を対象とした活動

- 大学生を対象にした解体現場の見学会を4回実施中。見学会実施に際してはメディア誘致による情報拡散に取り組んだ。
- 自動車リサイクルの情報を掲載した運転免許学科教本を、上期は約33万部配付。

大学生への知る機会の提供

参加大学	協力事業者	開催日
山口大学	オートパーツ幸城株式会社	07/05
秋田大学	リーテックス株式会社	09/25
宮崎大学	久保田オートパーツ株式会社	10/23
大分大学	オートリサイクルナカシマ福岡	12/11



オートパーツ幸城



久保田オートパーツ



リーテックス

新たに運転免許を取得する方への情報提供

未来の地球のために!進め!クルマのリサイクル
循環型社会の実現に向けたクルマのリサイクルの取り組みを知ろう!

楽しく学べるクルマのリサイクル
特設ページ OPEN

自動車リサイクルタウンへ
行ってみよう!

それぞれの建物では、冊子や映像、リサイクルの現場を
体験できるツアー、クイズやコンクール作品など
様々なコンテンツが見られるよ。

ご視聴はこちらから

含み残は原料に戻して
様々な製品に使われます。

残ったシュレッダーダストは
ユーザーが支払った
リサイクル料金を使って
さらに原料に加工し
熟成して再利用されます。

残った車体などは
シュレッダー機で
粉砕されます。

まだ使える部品は
取り外して中古部品として
流通されます。

ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って
エアバッグなどは取り外して
販売されます。

ユーザーが支払ったリサイクル
料金を使って、フロントガラスは回収して
再利用されます。

天然資源の使用を少なくしたり
リサイクルのしやすさを高めたクルマがつくられています。

クルマを買うとき
リサイクル料金をとして
約6,000~18,000円を支払います。

ユーザーは車を高く
大切に売ります。車検のとき
リサイクル部品を
使うようにします。

リサイクル部品を使うことのメリット

燃費の向上 部品はより
丈夫で、故障の
リスクが低くなる。

ユーザーは使わなくなったクルマを
引取業者に引き渡します。

詳しくは自動車リサイクル促進センターHPまで

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>

学科教本掲載

運転免許取得者の内、
20代以下の割合は
約79%。
(2023年度)

若年層を中心に、
訴求する活動を行う。

3. 地域毎の普及啓発

- 東京・大阪に続く第三の常設展示施設として、**北九州エコタウンセンターに常設施設を開設**。（11/1～）
- 地方公共団体等が主催する**地域イベント13か所**で普及啓発を実施中。 本件とリンクし、ニュースリリース・SNS等で情報を発信。

北九州エコタウンセンターに常設展示を開設

北九州エコタウンセンター
主催：北九州市、来場者数：年間3万人（学生見学コースとして活用されている）



オープニングの様子
（メディア取材あり）

- ・北九州市環境部長（環境局長 代理）
- ・エコタウンセンター 代表理事 センター
- ・北九州ELV協同組合 代表理事
- ・自動車リサイクル機構 九州ブロック長
- ・西日本オートリサイクル 代表取締役社長
- ・JARC 専務理事

地域イベントへの出展

エリア	イベント名	開催月日
北海道	環境広場ほっかいどう	8/24-25
東北	あきたエコフェス	10/12-13
関東	エコプロ	12/4-6
	エコフェスひたち	7/20
北陸	とやま環境フェア	10/12-13
	いしかわ環境フェア	8/24-25
中部	環境デー-なごや中央行事	9/14
近畿	京都環境フェスティバル	2月予定
中国・四国	「環境の日」広島大会	6/8
	松江環境フェスティバル	11/10
	環境モデル都市まつやま環境フェア	10/26-27
九州・沖縄	環境フェスティバルふくおか	10/26-27
	おきなわアジェンダ21県民環境フェア	11/10



札幌



金沢



名古屋

4. メディア等での発信

- ニュースリリースを17件配信。当該情報がネットメディア920媒体に転載。（広告費換算 2.2億円）
- テレビ地上デジタル放送で221本配信。ラジオ放送330本配信。
- その他、地域イベント等の開催状況をSNS等のデジタルメディアで随時配信。

ニュースリリースの配信

News Release

公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
2024年4月11日

全国の小学生を対象とした
第7回「クルマのリサイクル」作品コンクール
受賞者の表彰式を開催

主催：自動車リサイクル促進センター 開催日：2024年3月29日(金)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都港区、代表理事：福田聡士）は、2024年3月29日(金)、〈ふるまがひ館〉において第7回「クルマのリサイクル」作品コンクールの表彰式を開催しました。

小学生の学校教育での学びを通じて、自動車廃棄や環境保全を考えていただくため、小学生の学びの集大成とした第7回「クルマのリサイクル」作品コンクールを行い、全国から7,774点の「クルマのリサイクル」テーマでした作品・ポスターの作品が寄せられました。厳正な審査の結果、各部門の入賞作品30点ずつおよび団体10校を表彰し、表彰式では各部門の審査員、小学生新聞員、審査員特別賞3点および団体賞1校に賞状・賞品が贈られました。

※審査員の陣には、JICAの支援を受け <https://www.arpd.com/english/press/2024/04/11>
※開催地：ふくしま新聞 <https://www.fukushima-shimbun.co.jp/content/2024/04/11>
※写真提供：写真提供

7回「クルマのリサイクル」作品コンクール 表彰式

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都港区、代表理事：福田聡士）は、2023年度における自動車リサイクルの推進を図るための「自動車リサイクルデータ Book 2023」（以下「本誌」という）を公開いたしました。

JARCは、自動車リサイクルの推進システムに蓄積されたデータおよび自動車リサイクルに携わる事業者等から提供された情報を基に、自動車リサイクルを取り巻く状況を本誌に整理いたしました。本誌には、近年増えつつある「ハイブリッド自動車(HV)」や電気自動車(EV)の発生台数や「使用済みになるまでの自動車の平均使用年数」などの情報も掲載しています。

本誌(PDFデータ)は、次のウェブサイトから入手できます。
掲載場所 ⇒ <https://www.jarc.or.jp/data/databook/>

本誌の構成

構成	主な内容
1. 自動車リサイクルの流れ	自動車リサイクルにおける主要な関係者の役割
2. 主な関係	廃棄物処理業者等の役割・運用 資源利用促進センター・資源リサイクルセンター 中核事業団（国・県・市町村）の役割・運用 自動車リサイクルの推進
3. 過去10年間の実績（データ集）	自動車リサイクルの推進 自動車リサイクルの推進 自動車リサイクルの推進

＜QRコード＞

＜表紙イメージ＞

ニュースリリース例

テレビ・ラジオによる情報発信

区分	地域	配信期間	放送局	接触者数計画値
テレビ (地上波)	地方局 (関東除く)	6月～2月	各道府県放送局	1億3,000万人
ラジオ	全国	6月～2月	TOKYOFM、 TBSラジオ、ニッポン放送	1億7,000万人

SNS等の活用



午後5:32・2023年10月6日・2,220 件の表示

13 リポスト 179 件のいいね

インターネットメディア例

CNET Japan、ZDNET Japan、RBB TODAY、
共同通信デジタル、Response、ZAKZAK、
週刊女性PRIME、exciteニュース、Infoseekニュース、
J-CAST ニュース、毎日スタイル 他

5. 予算執行状況

● 年度予算額 **2.62** 億円に対し現時点の見通しは **2.44** 億円 (93.1%)。計画案件をほぼ予定通り遂行中。

(単位:万円)							
#	取組みの目的	施策例	年度予算額 ①	上期決算	年度見込 ②	年度差異 ① vs ②	主な差異理由
1	➤ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➤ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起	・ 地域イベントへの出展・参加 ・ 常設展示施設での普及啓発	6,900	2,318	5,481	▲1,419	委託額の低減(入札・相見積等)
2	➤ 小学生の学びの機会の創出 ➤ 保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起	・ 小学生作品コンクールを開催 ・ 小学校向け図書を寄贈 ・ 小学校向け出前授業	6,483	1,739	7,476	+ 993	内製で計画した出前授業を外部委託で対応
3	➤ 若年層の知る機会の創出 ➤ 若年層の学びの機会の創出	・ 自動車教習所での普及啓発 ・ 大学生向け見学会	1,950	451	938	▲1,012	外部委託で計画した大学生向け見学会を内製で対応
4	➤ 各施策の相乗効果を高める取組み ➤ 音や映像による認知拡大・関心喚起	・ ニュースリリース / パブリシティ ・ メディアを活用した情報配信 (テレビ・ラジオ・SNS等)	4,800	165	5,489	+ 689	ラジオ配信局を予算時より拡大
5	➤ 発信情報の改善、認知度調査 ➤ その他	・ ウェブ・ポスター制作、認知度調査 ・ その他の委託費・予備費	6,067	589	4,924	▲1,143	委託要員1名減
合 計			26,200	5,262	24,388	▲1,817	
			100.0%	20.1%	93.1%		

6. まとめ

- 最新のユーザー認知度 (全年齢) は約80%。若年層 (30歳未満) は約70%。
*ユーザー認知度 … 全国で調査時点から3か月以内の自動車購入者を対象とし自動車リサイクル法の認知度を調査
- 近年、小学生・若年層向け施策に力点を置いて取組みを継続している。
- 今年度下期においては、以下の2施策を通して、将来リサイクルの核を担う児童に向け、資源循環の重要性も盛り込んだ学びの機会拡大に注力する。
 - ・ 小学生向け図書の寄贈 (自動車リサイクルの漫画調教材)
 - ・ 小学生向け出前授業の開始

漫画調教材 イメージ



／以上

<https://www.jarc.or.jp/>